

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 千葉県立流山おおたかの森高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒270-0122
千葉県流山市大畔275-5

E-mail k.n.otaka-h1@chiba-c.ed.jp

Website http://www.chiba-c.ed.jp/n.otaka-h/

児童生徒数 男子 431 名 女子 614 名 合計 1045 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☒ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☒ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 留学生との交流

(1) 麗澤大学留学生との交流

①「留学生が先生」

6月に麗澤大学の留学生を1学年各クラスに1名ずつ講師として招き、写真や映像を使用しながら「自国の文化」「日本との違い」等について、紹介していただいた。また、本校生徒も伝統的な遊びを一緒に行ったり、日本の食べ物を振る舞ったりするなど、日本の文化を紹介した。

②「留学生とのグループ・トーク」

11月に1年生の国際コミュニケーション科の生徒に対象とし、「グループ・トーク」を実施した。1クラスを10のグループに分け、それぞれのグループに留学生が入り、「自分の国の誇れる文化」について、お互いの国の良さを紹介し、意見を交換し合った。

(2) 東京大学・千葉大学留学生との交流

7月に東京大学主催留学生による日本語スピーチの会に参加した。本校生徒は本校の国際理解教育に関する学校行事について、英語で発表し、その後、留学生との交流を行った。

3月には千葉大学 ESD 成果発表会にユネスコスクールとして参加して本校の ESD 活動を ASEAN からの教職員・大学生と千葉大学の留学生に紹介した。また、他校の発表にも通訳としてボランティアで参加した生徒もいた。

(3) 短期留学生の受入

6～7月の約1ヵ月間、アメリカの高校生2人の短期受入を行った。1学年2学年の国際コミュニケーション科の一員として、本校生徒と一緒に授業を受け、学校生活を送った。

2 レッドリンチ高校・モスマン高校（オーストラリア）との交流

(1) オーストラリア短期語学研修

全校生徒の希望者を対象に、7月19日から2週間、オーストラリアのレッドリンチ高校・モスマン高校で短期語学研修を行った。今年度は1・2年生合わせて35名の生徒が参加した。現地においては、この短期語学研修が日頃の英語学習の実践の場となるように、ホームステイを行い、学校内においてもバディー（授業等一緒に受ける現地高校生）と一緒に生活する時間を多く設定した。

3 実践的英語力向上を目指す宿泊行事

(1) アメリカン・サマー・キャンプ

国際コミュニケーション科1年生を対象に「アメリカン・サマー・キャンプ」を実施した。7月14日から2泊3日で、アメリカから7人の大学生を招き、英語漬けの生活を行った。「アメリカン・サマー・キャンプ」の特徴は、本校生徒5～6名に対し、アメリカ人1人という恵まれた環境の中で、英語による生活を送ることができ、日本語を介さず即興的に英語を使用する場面を設定した。

(2) 台湾・グアム修学旅行

普通科は今年初めて台湾への海外修学旅行を実施した。これで2年生は全員が海外修学旅行を経験することになった。歴史・文化・食生活を経験するだけでなく、現地の高校と交流を行い、現地のマスコミにも大々的に取り上げられた。

国際コミュニケーション科2年生を対象に3泊4日の千葉県初となる「グアム修学旅行」実施した。現地校であるJF ケネディー高校との交流、太平洋戦争に関する平和学習、グアムの歴史・自然学習を柱とし、英語をコミュニケーションの道具として使用し、現地の人々と交流した。

4 地域の英語学習の拠点を目指した事業

(1) 中学生対象英語スピーチコンテスト

近隣の中学生に英語による発表の場を提供するために、11月に中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催した。流山市教育委員会の後援をいただき、今年度は43名の生徒が参加した。また、本校ではスピーチの内容に重点を置いているため、海外帰国生徒等に対しても積極的に参加を呼び掛けている。

(2) 小学校出前授業「高校生が先生」

本校英語教員と国際コミュニケーション科1年生が小学校に訪問し、英語の授業を行う「高校生が先生」を実施した。今年度は西初石小学校を始め流山市4校で実施した。本事業は地域の小学生に対して「英語学習の動機づけ」を行い、本校が地域の国際理解教育の拠点となることを目指している。

5 地域の中でのボランティア活動

隣接した小中学校とは児童生徒が交流する機会が多い。その中で地域住民と接するなかで数多くのボランティア活動を実施している。ここ数年で、地域からゴミがなくなったことも地域から感謝されている。部活動が高齢者施設等に季節ごとに来訪して、お年寄りの心も感動する活動もある。

また、防災施設として小中高が近いので備蓄物資や人的活動の交互の交流も進んできている。

2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☐ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☒ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☒ その他（ ユネスコチームとして活動 ）